

## ◆ 多摩立川保健所にて「療育相談事業」を実施しました

11月13日（木曜日）、多摩立川保健所では、「医療的ケア児と重症心身障害児とその保護者のために 就学前の子育てのいろいろみんなで話してみませんか～子育て、医療的ケア、兄弟姉妹のこと、いろいろ～」をテーマに、療育相談事業を昭島市の後援を受けて開催しました。管内 6 市（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）に住む未就学の医療的ケア児や重症心身障害児等とその保護者を対象とし、医療的ケア児・重症心身障害児 2 名、保護者 6 名の参加がありました。

内容は、認定 NPO 法人みかんぐみ（障害を持つ子どもと親の会）から先輩ママをお招きし、先輩ママご自身の経験をお話いただいた後、参加者を含めて意見交換を行いました。

参加者同士で、「SNS などで情報を得やすくなったことで情報に振り回され不安になっていたが、子どもとの今を生活を大切にす夫の姿に影響され、1 日を大切に過ごそうと思うようになった。」「時間の経過とともに気持ちが切り替わり前向きになってきた。」「まだ葛藤があり受容までに至っていない。」「初めて障害について話せて嬉しかった。」等、それぞれの思いを語り合いました。会の終了後も、育児や就学、仕事との両立等について活発にフリートークが行われていました。

終了後のアンケートでは、「色々な方のお話が聞けたのが良かった。」「気持ちが前向きになった。」「楽になった。」との回答がありました。今後もこのような機会があれば参加したいと多くの方が回答しており、交流会のニーズが高いことが分かりました。

また、医療的ケア児の切れ目ない支援と各市の取組を推進するため、管内の市職員から相談窓口や取組について紹介してもらいました。保護者の声を地域課題に反映させ、次年度以降の活動に繋がっていくことを期待しています。

これからも当保健所では、医療的ケア児や重症心身障害児等とその保護者が地域と繋がりながら安心して地域での生活を送ることができるように支援を行っていきます。



当日の様子

【(保) 多摩立川保健所】